



# 古府っ子

令和5年度 2月号  
高岡市立古府小学校  
学校だより  
令和6年1月25日

## 「知の自転車」を乗りこなす子供たち

校長 矢田 憲和

コロナ禍で様々な学校生活が制限された中で、逆に大きく発展したものが感染症対策と もう一つあります。それはICTの活用です。一人一台の学習専用端末の配付、登校できない児童へのオンライン授業、学習動画の編集や配信等、これまで教育現場でできなかったこと、実現に時間がかかると思われていたことがハード・ソフト両面で一気に進みました。現在全ての教室に大型テレビが設置され、デジタル教科書を使って日常的に授業が行われています。しかし、3学期に入ってさらに大きな変化の到来を感じた出来事がありました。本校の5年生の3名の児童が総合的な学習の時間の取組で「みんなに防災を呼びかけたい」と右の動画コンテンツを作って全校に紹介したのです。台本、撮影、編集、文字入れ等も全て自分たちで協力して行ったそうです。10分間の動画の内容も防災リュックの用意、津波からの避難、避難所での生活等、どの学年の児童にも分かりやすく充実したもので、大人にも役立つ知識です。子供たちの企画力、発想力、表現力、そしてICTを使いこなしてそれらをまとめる技術に、5年生でここまでできるのかと舌を巻きました。他にも、国語科の学習と関連付けて4年生は日本各地の伝統工芸、6年生は和食や華道等の日本の伝統文化について調べてすてきな冊子を作りました。

5年生が作成した動画の一場面  
「アニメルものがたり〜ほうさいについてしろう〜」より



従来のICTを活用した授業と言えば、教員が大型テレビにデジタル教科書を映して説明する「子供たちに教える」ことが中心でした。それが次第に子供たちがICTを使って自ら必要な情報を収集したり、表現したいことを作り出したりする道具として使いこなし「子供たちが自ら学ぶ」ように進化し始めてきていることを感じます。

Appleの創業者スティーブジョブズは、コンピュータを「知の自転車」と呼びました。自転車が人間の移動を効率的にしてくれたように、コンピュータが人間の知性を拡張してくれる道具であることを例えたものです。本物の自転車同様「知の自転車」にも危険がありますが、子供たちが変化の激しい社会の中を安心安全に乗りこなし、生き抜いていくために必要な力が身に付くよう教員も新しい時代に合った支援をしていきたいと思えます。

## 古府っ子フォトギャラリー (今回はICT関連の取組の一部です。)

日々の様子は古府小HPで→



1年生 生活科で家庭で自分ができることを動画で紹介しました。



2年生 ローマ字練習を頑張っています。キーボード入力の基礎となります。



3年生 インターネットから必要な情報を集める学習をしました。



4年生 国語科で関心のある伝統工芸について調べて説明文を作りました。



5年生 総合で災害から身を守る方法をプレゼンソフトでまとめました。



6年生 国語科で日本に伝わる伝統文化について調べ小冊子にまとめました。